

参照) 与方恩恵的債権の傾向の薄厚ある組合を組織した之れが宣傳のため十月廿一日青澤博士として示威運動を挙げし参事五名を之に参加した。又本組合は方向轉換して右様する所あり。その他廣島市内より大正十三年六月廣島自由思想研究会が方恩恵的研究団体の創立されたのちの十二年十月に組織を改良し二日會と改称した。

以上記りの二団体の會が等は勞働組合の要を感し革進會、二日會の幹親と組織委員に與りて廣島勞働者日盟と組織し之を記二団体と解散し大正十三年四月二十一日改定會式と

廣島市鐵道所キリスト教組合會に於ける出資の別名者一五。名で當時の會費数は二五名である。此のほな名称、加盟上級組合等に於ける多量の資を重視して現在に於けるものである (名称は他参照)

主張

日本労働者日盟、日本労働組合評議會を参照